

「第3次長久手町環境基本計画案」についてのパブリックコメ

ントの実施結果

第3次長久手町環境基本計画を策定するにあたり、町民のみなさんからご意見をいただくためパブリックコメントを実施しました。

次のとおり結果を公表します。

- 1 意見募集案件名
第3次長久手町環境基本計画案
- 2 募集期間
平成23年2月16日（水）から平成23年3月17日（木）まで
- 3 閲覧場所
町ホームページ、役場西庁舎1階行政情報コーナー、環境課窓口
- 4 募集結果
1名、4件
- 5 提出された意見及び意見に対する町の考え方

	意見	町の考え方
1	「保全」と「保存」の区別 ・計画案では、環境の「保全」と「保存」の考え方の違いが明確に区別されていない。双方が区別されず渾然とした記述では、誤解がますます深まるため、混然とした記述は改めるべき。	「保全」と使用している箇所について精査します。
2	環境PDC Aにおける協働の試行的な実施 ・計画案はPDC Aプロセス全体の協働を提案しているという点においては、その積極性は評価できるものの、その内容は不十分なものと言わざるをえない。しかし、確定された理想的なPDC Aの協働の姿が、今計画の段階で描けるものでもない。	考え方は基本的に質問者と同じです。行政・住民・企業の協働によるPDC Aのしくみは試行錯誤的・実験的な取り組みを重ねながら、本町に合ったものとしていく必要があると考えています。 なお、このことを明らかにしていくために、下記の表現を追加します。 「(2) 協働によるPDC A

	<p>したがって、関連する部分の構成や記述は、断定的・決定的な書き込みをできる限り避け、今後のPDCAを妨げないようにすることが重要である。</p>	<p>本計画を推進する協働体制として、住民・事業者及び行政（町）が参加する「（仮称）ながくて環境ネットワーク」を創設します。</p> <p>このネットワークでの協議、試行的・実験的な取り組みを重ねながら、本町にふさわしい協働によるPDCAのしくみについて検討していきます。」</p>
3	<p>あまりにも低いCO₂排出量の削減目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度（2015）の削減目標は、1990年比8%減で、国際公約に比べてあまりにも低い。高い目標を掲げ、それを達成しなければ人類と地球環境の持続はないことを住民に訴え、そのためにはコンパクトなまちづくりと私達のライフスタイルの変更が必要なことを強調するべき。 ・なぜ長久手ではCO₂排出量が大きく増加しているかの分析が弱い。この計画案の問題点と考える。 	<p>この計画においても国の削減目標（2020年までに、1990年比で温室効果ガス25%削減）を視野に置いており、計画期間の後半5年（平成28～32年度）においても同様のペースで削減すると、25%の削減を達成できる数値となっています。</p> <p>また、二酸化炭素排出量の現状分析についてですが、人口増加や事業所の増加が総排出量の伸びにつながっており、特に民生家庭部門はその増加が著しいです。したがって、重点プロジェクトにおいて、「リニモ沿線におけるモデル的な低炭素都市づくりの促進」により、コンパクトなまちづくりとライフスタイルの変更を目指しています。また、「環境家計簿モニター制度の導入」によりCO₂排出量の「見える化」に努め、排出の実態を把握していきたいと考えています。</p>
4	<p>記載方法・表現について</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「こだわるまち」の「こだわる」という日本語は、必ずしも肯定的な語感をともなうものではない。 ②「物を捨てない」という表現は、いわゆる5Rを象徴するものとして適切か。「ものを粗末にしない」とか、より自然で適切な表現があると思う。粗末にしていけないのは「物」だけではない。システムやサービスを含めるため「もの」と表現したほ 	<ol style="list-style-type: none"> ①「自然と環境にこだわるまち」という表現は、第5次総合計画の基本構想において、環境保全に関わる基本方針となっています。総合計画との整合性を持つ意図で、この表現を環境基本計画でも活用しています。 ②表現について修正します。 ③統一を図ります。

	<p>うが良い。</p> <p>③ナンバーの打ち方が、章, 節, [1], (1), ①という並び方と、章, 節, 1., ■ 3 ■, 1. 1 - 3, (1), ①という並び方との二種類があります。ナンバーの打ち方が勝手に決められているため、全体の構成が極めて理解しにくい。</p>	
--	--	--